



あゆみ

No. 173

令和 5年10月17日発行

編集 発行：社会福祉法人 啓明会 苓山寮・第二苓山寮
〒863-0006 熊本県天草市本町下河内680

TEL 0969-22-5339・0969-22-1766 FAX 0969-22-5090

E-mail reizanryou@miracle.ocn.ne.jp・reizan2@muse.ocn.ne.jp

社会福祉法人啓明会ホームページURL <http://keimeikai.amakusa-web.jp/>

施設の旬の話題を「レイザンTOPIX」にて更新中です。



第二苓山寮・グループホーム



苓山寮

『書くことと読むこと』

施設長 鮎田 一夫

やっと朝夕涼しい風が吹き出し、施設の周りの畦道には彼岸花が満開です。利用者の皆さんにとっては、戸外活動が最もしやすい季節になりました。充分に外の空気を吸って体力をつけていただきたいと思います。

さて今回は年間目標から少し外れて「読み書き」の話を書きたいと思えます。当施設では毎日の日誌類や利用者の行動記録は手書きです。今ではパソコンやタブレットで入力する施設も多いと思います。中には音声入力できるものもあるそうです。パソコンに入力された記録は施設内でランを組めばどこでも閲覧可能です。その方が情報共有という点では優れていると、私も思います。ですが、人は書きながら考える動物です。パソコンで入力する場合はひらがなを打てば漢字に変換してくれますが、手書きの時は漢字を思い出さなければなりません。うちでもよくスマホで漢字を調べながら書いている支援員を見かけます。一見面倒なことをしているようですが、毎日書いていこううちにその漢字を覚えてしまうでしょう。パソコンで入力しても覚える

ことは難しいと思います。

また、私は立場上日誌類や行動記録を全部読んでいますが、中には書き殴ったような字で読むのに苦労するものもあります。かと思えば、とても忙しいだろうにいつもきちんとした字で書いてあるものもあります。うまい下手ではなく、人に読んで貰うことを意識しながら書いているのかどうか、字を見ればわかるものです。さらに、いつもより字が乱れている時はその人の体調を心配したりします。字にはその時の自分が表れています。

人が人たるゆえんは言語を持つからだと言われますが、私達は頭だけでなく目や手を使って言語を駆使していると言われています。ペンを握って字を書くとき、何と書こうかと逡巡し言葉を選び文章を組み立て、文字を書き連ねていく。また文章を読むとき、頭でその情景を想像しながら、視覚に訴えてくる文字そのものからの情報も受け取るうとしていく。手書きは面倒です。しかし、一年間で分厚くなっていく日誌類や行動記録類を見ると、これが一番確かな記録ではないかと思えます。ちなみに最も長持ちするメディアは和紙に墨で書かれたものらしいです。日本国憲法もそれを採用しています。

サービスの現場より



『縦糸と横糸』
苔山寮副施設長 鮎田 逸子

一本の糸はか細いものだが、多くの縦糸と横糸を編んでいくと一枚の布ができ、その布は人を包むこともできる。施設での仕事もそういうものだと思う。縦糸が例えば活動班であれば、横糸はさしずめ各種委員会だろう。班が日中活動の主体を担っているが、各種委員会が計画する様々な行事によって、利用者の生活はより充実したものになっている。縦糸と横糸の交点にいるのは支援員で、班と委員会の活動をうまく繋ぐ仕事をしている（はずである）。また、縦糸は全職員の仕事であり、横糸はそれぞれの職種、職階という考え方もできよう。当施設では三月に支援員以外の職員も含めて期末一時金を支払っている。加算以上の出費になるため一部は施設で負担している。これは職種、職階にかかわらず全ての職員に「利用者を支援する心」を持って貰いたいからである。そして支援、医務、給食、事務、管理者等それぞれの立場の人が、自分の果たすべき役割を果たすことで大きな成果が得られるだろう。

施設の中に色々な縦糸と横糸があり、それが大きな一枚の布となって広がっていくことが私の理想である。



『私の担当利用者さん
への取り組み』
苔山寮支援員 宮口 明美

私が担当させて頂いているWさんは今年三月に入所されました。入所当時は今までの生活（学校行事等）が習慣化しておられた為、急に環境が変わったことに不安になられることも多くありました。職員が統一した言葉かけを行うこと、個別に一日の流れを説明することです。少しづつ不安感は和らいだように感じます。しかし、日程や物の場所が変更になることには敏感に反応される為、変更前に丁寧な説明を行うようにしています。

また、何かして欲しい気持ちが強い時は職員の話を受け入れることが難しい様子でした。まず、本人の気持ちを言葉にすることで分かっていることを伝えるようにしました。出来ることは「〇〇の後になります」と明確に示し、出来ないことは本人に分かりやすく理由を説明することで納得して頂けることも増えました。苔山寮での生活にも慣れてこられ、とても可愛い笑顔が見られる日も多くなりました。今後もしキンシップを凶り時間をかけて信頼関係を築き、Wさんにとって充実した楽しい生活が送れるよう支援していきたいと思えます。



『私の担当利用者さん
への取り組み』
第二苔山寮支援主任 金森 明美

私の担当するTさんは昨年四月より第二苔山寮へ入所され一年半が経過しました。四十年間程、地域の家具店で働かれ、約二十年間グループホームで生活されてきました。穏やかな性格で優しい笑顔が素敵なTさんなのでTさんの周りはいつも明るい雰囲気であまっています。花が大好きで、きれいな花を育てて飾る事を目標に水掛け等の管理を一緒に行っていました。継続が力となり、育てたお花をホールに飾る事が出来ました。他の利用者さんや職員などから称賛の声掛けを沢山貰い、Tさんの意欲に繋がっています。現在も花を育てることは続けておられ、きれいな花が咲く事を楽しみにされています。

第二苔山寮最高齢の八十歳になられますが、まだまだ足腰も丈夫でしっかりされています。これからも健康で生き生きと生活して頂けるように、健康面、情緒面に目配り気配りを常に行い支援していきたいと思えます。



『知的障がい者施設の

給食管理の現状』

荅山寮管理栄養士 長嶋さおり

九月十五日天草地区看護師・栄養士会に出席しました。九施設が出席し事前に配布された各施設からの十七項目の質問事項に沿って、それぞれの施設が実施の有無や実際にどのような対応しているかを話しました。内容としては高齢者や嚥下障害の方への対応、好き嫌いのある方への対応、食材の高騰への対応、備蓄をどうしているか、コロナ緩和後の感染時の対応などです。どの質問も日頃の業務で悩ましい課題となっているものであり、各施設の栄養士も身を乗り出して話を聴き、さらに詳しく質問し自分の施設に取り入れられることや改善できることはないか、現在実施していることは間違いないかなどを考えながら意見を交わしました。給食の共通の課題である業務の複雑化や人員不足を解決するためにクックチル方式を導入されている施設がありました。耳にはしていましたが現実問題だなと感じました。クックチルとは加熱調理後九十分以内に中心温度三度以下に急速冷却し食事を提供するタイミングで再加熱する調理法です。今回知ったことを業務に活かすと共に、各施設の栄養士が連携しながら業務を進めることができればと思いました。



『天草地区研修会看護師会』

看護師 上嶋 知子

新型コロナウイルスの流行

により三年ぶりの開催となりました。看護師会のテーマは、殆どが新型コロナウイルスに関するクラスター発生時の対応や五類へ変更になってからどのように機能しているかというものでした。施設によって罹患者の防護服の着用の仕方や備蓄品のストックのあり方等を聞くことができ、それぞれの施設で色々と考え実践されていると感じました。

又、医療行為に関してどこまで行っているかというテーマでは、座薬、インスリン、洗腸、採血、点滴など様々な問題で看護師がどこまで支援員と一緒にしているかなど話し合い、看護師が一人だけの施設もあり、座薬は支援員にも挿肛してもらうが、他はほぼ病院に連れて行っている。日勤でインスリンは看護師が殆どしていたが、看護師が不在の時に打ち間違いの事故があったので現在は支援員にもインスリンを打つ介助に入ってもらっているなど、それぞれの施設で対応されていました。病院とは違い医師や多くの免許をもったスタッフがいなかたどのよう施設で考えて対応されているか話し合いができてとても貴重な研修だったと思います。



『オープンジョブ

in AMAKUSA』

荅山寮支援員

松山 憲士

九月十六日に天草市社会福祉協議会本渡支所にて福祉施設の就職ガイダンスが開催されました。熊本県社会福祉協議会主催で初めての開催でした。障がい者施設や高齢者施設など複数の施設が参加され、これから福祉の仕事に携わりたいと考えている方達がお話を聴きに來られました。

始めに障がい者施設、高齢者施設それぞれの代表者が講話を行い、その後各施設のブースに分かれて来場者へ説明を行いました。荅山寮のブースにも数名の方が来てくださり当施設についてお話をさせて頂きました。話をする中で一番多かった意見が「障がいを持った方との接し方が分からない、イメージがつかない為不安である」という事でした。私も同じ気持ちで入職したことを思い出し、障がい者施設入職への一歩をなかなか踏み出せない要因の一つだと感じました。今後は、もっと沢山の方に障がい者施設について知ってもらい興味を持ってもらえるように、あゆみやホームページ荅山トピックスを活用していきたいと思えます。



敬老・長寿のお祝い

令和5年 9月13日

今年は3年ぶりに苓山寮・第二苓山寮合同での開催となりましたが、新型コロナウイルス流行のためボランティア、地域の方の参加は見合わせていただくこととなりました。苓山寮30名、第二苓山寮13名、グループホーム5名、職員9名の計57名の方が対象となられ、ささやかな記念品と職員による出し物でお祝いさせていただきました。笑顔も多く、楽しい一時を過ごしました。皆さん、これからもお元気にお過ごし下さい。

【苓山寮：30名】

伊津野縫子さん (89歳)	稲田キヨ子さん (84歳)	安谷 紀子さん (84歳)
中村 英子さん (76歳)	西田 廣幸さん (76歳)	新谷八重子さん (76歳)
堤 佳子さん (75歳)	赤星 信一さん (74歳)	小田 義隆さん (74歳)
祝原 光則さん (73歳)	裏 敬治さん (72歳)	今井 次男さん (72歳)
福島千恵子さん (72歳)	栗原 節子さん (72歳)	内古閑元雄さん (71歳)
島田 盛二さん (71歳)	松本 隆さん (71歳)	大塚 治代さん (71歳)
金子 順子さん (71歳)	前田の婦子さん (古希)	光井 正敏さん (古希)
園田 幸子さん (69歳)	坂口美和子さん (68歳)	石川美恵子さん (68歳)
田中 忠信さん (68歳)	中村由佳里さん (68歳)	春日 勝也さん (67歳)
金子 裕子さん (66歳)	立山るい子さん (65歳)	上田 到さん (65歳)

【第二苓山寮：13名】

嶽坂 安男さん (傘寿)	柴田 勝則さん (79歳)	山隈 孝也さん (78歳)
古川 秋男さん (75歳)	大久保實也さん (74歳)	祝原 和則さん (74歳)
山口 忠明さん (71歳)	里 信之さん (古希)	坂口 保代さん (古希)
山本智夏子さん (68歳)	吉田 実夫さん (67歳)	植村史津子さん (67歳)
堀切 雪吉さん (66歳)		

【GHつばさ：5名】

浦本 昭男さん (81歳)	鬼塚 豊志さん (傘寿)	松本 良勝さん (喜寿)
村本 政春さん (喜寿)	中村 勇さん (71歳)	



苓秋祭

10月3日

秋晴れの空の下、施設内の行事である苓秋祭が開催されました。今回は、から揚げやたこ焼き、うどん等のメニューに加え地元の焼き鳥屋さんやミスタードーナツさんをお招きしての開催でした。利用者さんは、食券を持って思い思いの出店を巡りながら「こらうまか」と笑顔で教えてくれる方もいらっしゃいました。又、カラオケ大会では会場を大いに沸かせてくださった利用者さんもおられ、食べて歌っての楽しい時間はあっという間に過ぎていったようです。「次はいつね」と話す利用者さんの笑顔がとても印象的でした。



本町地区町民体育祭

パン食い競争に参加させて頂きました。参加された皆さん、前日から「楽しみ〜何のパンがあるのかな？」や「一等取ってくるね」と楽しみにされていました。当日も緊張されている面持ちもありましたが「皆で頑張りましょうね」と声を掛けると「頑張ってくる」と表情も良くスタートラインへ、スタートのピストルの音が鳴ると勢い良く走り出す方や、「うわー」と驚きながらゆっくりと歩いてスタートされる方それぞれでしたが、ゴールすると「良かった。楽しかった」と笑顔が多く溢れていました。



熊本県知的障がい者親善スポーツ大会

十月八日、三年振りに開催され、ペタンク競技に参加して来ました。前日に山鹿富士ホテルに向き出発。ホテルに到着し、美味しい食事や大浴場を満喫し鋭気を養いました。大会当日、会場である植木中央公園運動施設体育館に到着し、ユニフォームやゼッケンを着用し開会式に参加しました。その後ペタンク競技が開始され、リーグ戦で三試合行いました。結果は惜しくも全敗ではありましたが、参加された利用者の皆様は笑顔を見せてくださり、楽しんで頂けてたよかったです。



本町ふれあいソフトボール大会「九月三日」

私たち施設周辺の自治体は天草市本町地区です。祭りや運動会等様々な行事に利用者共々招待していただいております。今回職員だけではありますがソフトボール大会に参加させて頂きました。



本町地区が四チーム、天草支援学校が二チーム、荅山寮・第二荅山寮チーム、天草学園・第二天草学園チームの計八チーム、トーナメントでの対戦でした。我が荅山チームは二回戦敗退となりましたが全員ソフトで身体を動かし汗をかき、他のチームの応援等、地域の方と楽しくふれあうことができました。施設と地域を笑顔で結び、盛り上がったソフトボール大会でした。来年も是非参加したいと思えます。地域の方々には施設行事にも快く参加していただいております。本町自治体に対しご理解とご協力感謝しています。本町自治体の発展を共に支えていければと思っております。

へお祝いへ

荅山寮の中原支援員に第二子となる愛菜(まな)ちゃんが生れました。おめでとうございます。愛菜ちゃんの健やかな成長を願っております。



へ行事予定へ

十月十八日 津波対応訓練
 十九日 感染症対応訓練
 二十七日 第四回管内研修(人権研修)

十一月 一日 インフルエンザワクチン接種
 三日 文化の日
 十五日 総合防災訓練
 十六日 創立記念日(五六年)
 二十二日 各種がん健診
 二三日 勤労感謝の日

十二月十七日 第九演奏会見学

へ編集後記へ

祭りやイベント等、催しが多い時期になりました。施設でも十月三日に荅秋祭が実施され、利用者の方々も大いに楽しめました。猛暑が過ぎ、日中も過ぎやすくなりましたが、夏の疲れや朝晩の気温差から体調を崩しやすくなる季節でもあります。身体の不調に有効な対策として①十分な休息と睡眠。ぬるめの湯船で入浴②衣服調整等で寒暖差対策③軽めの運動④常温や温かい飲み物で水分補給。身体を冷やさない。他、マッサージやツボ押しも効果があるそうです。早めの対策で元気に秋を謳歌しましょう。スポーツの秋、読書の秋、芸術の秋。皆様はどのような秋を楽しめますか。私はやっぱり食欲の秋です。

